

AIマネジメントシステム

研修及び資格のご案内



Your partner
in progress

組織が AI（人工知能） マネジメントシステムを推進する理由

1. リスク管理とガバナンス

AIは強力なツールである一方で、誤った使い方や不十分な管理は重大なリスクを引き起こします。AIが予測や意思決定に用いられる場合、その結果に信頼性がなければ、ビジネスに重大な損失をもたらすことがあります。AIマネジメントシステムを導入することで、リスクの特定、監視、低減が可能となり、適切なガバナンス構築の一助となります。

2. 倫理的・法的なコンプライアンス

AIの利用はデータプライバシーや倫理的な問題を引き起こすことがあり、各国の規制や法律に適合させる必要があります。AIマネジメントシステムにより、倫理的・法的な基準を満たすためのフレームワークを提供し、組織が法令・規制順守を確実に実行できるように支援します。

3. 透明性と組織の説明責任

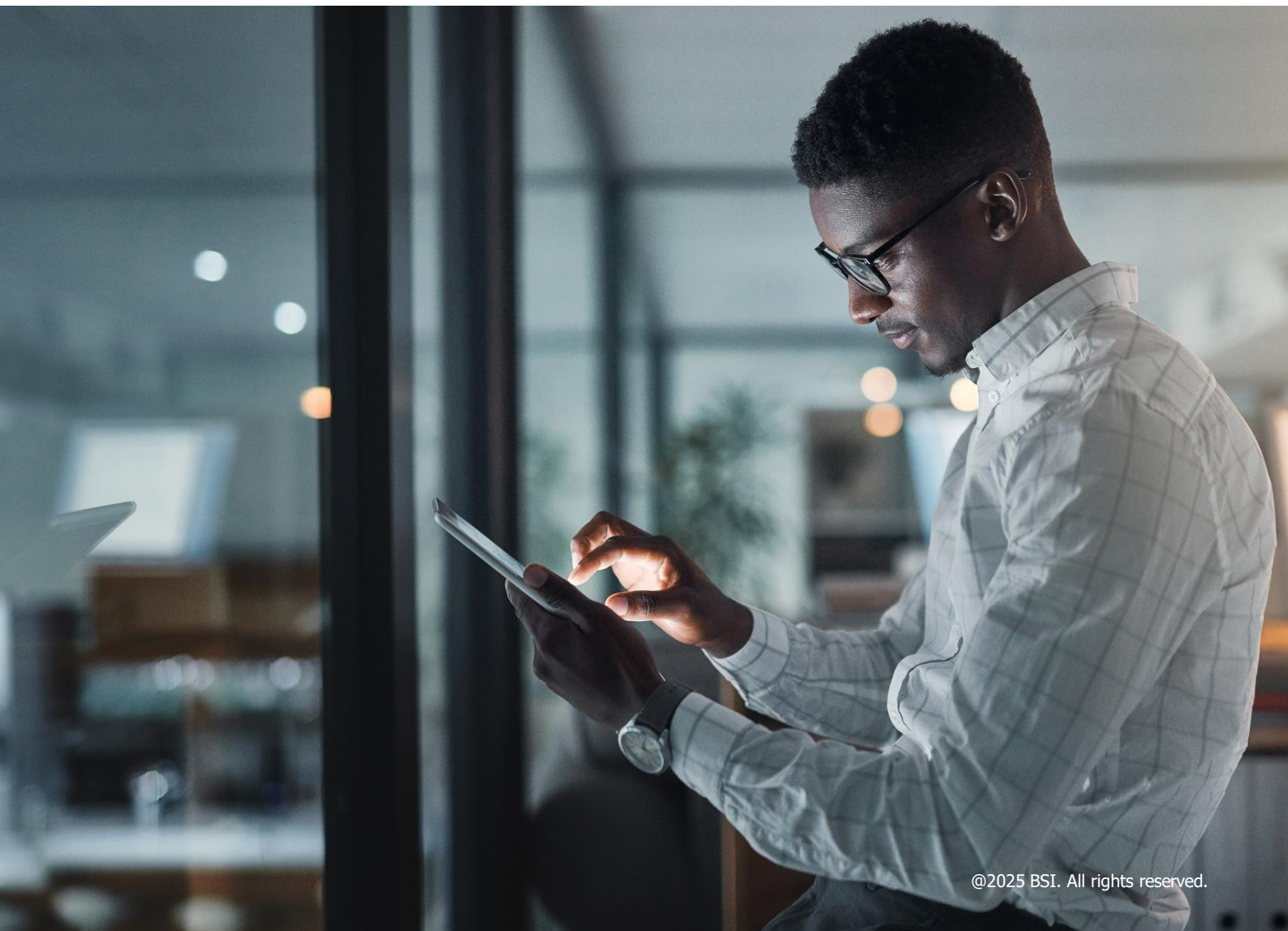
AIがどのように意思決定を行ったのかを説明できることは、信頼を獲得するために重要です。特にブラックボックス型のAIシステムでは、意思決定のプロセスが不透明になりやすくなります。AIマネジメントシステムを通じて、アルゴリズムの透明性を確保し、外部のステークホルダーや顧客に対しても説明責任を果たすことができます。

4. AIの管理と信頼性の向上

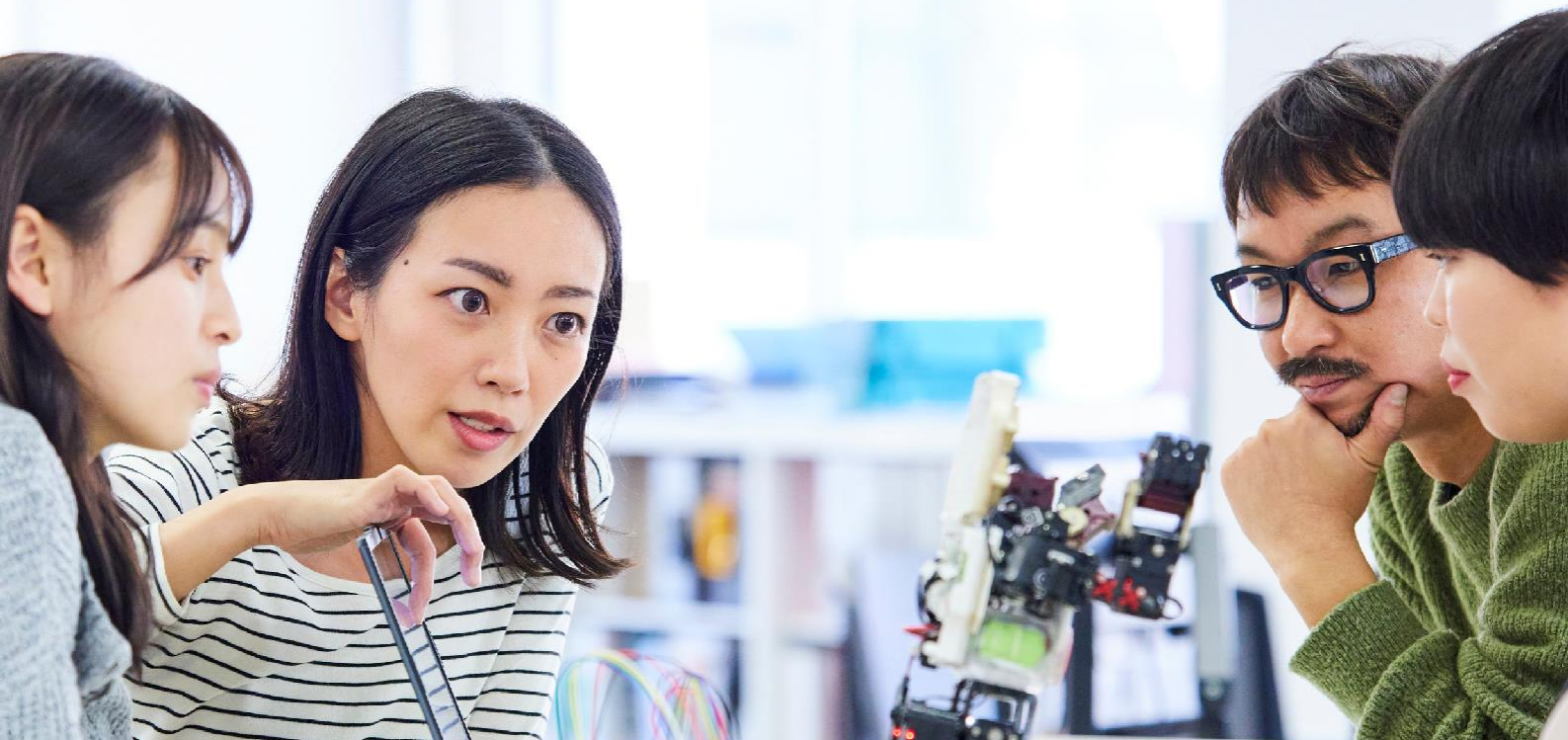
AIが期待通りの性能を発揮するためには、データの品質やアルゴリズムの検証が重要です。AIマネジメントシステムは、AIの開発、提供、使用の全工程においてAIの管理を行う枠組みを提供し、組織における信頼性の高いAIシステムを実現します。

5. 持続可能なAI活用の促進

AI技術の導入は一度で完了するものではなく、技術の進歩に合わせて継続的な管理と改善が必要です。AIマネジメントシステムを導入することで、AI活用が組織全体にわたって持続可能な形で行われ、技術の進化にも対応できる体制が整います。



AI搭載システムの 急速な発展を支援する国際規格



組織がAIガバナンスを 実現するための国際規格

ISO/IEC 42001:2023 AIマネジメントシステムは、組織の環境及び社会的影響（ESG）に焦点を当てた、AIのガバナンス構築に寄与する国際規格です。リスク評価、管理策、内部監査を網羅する体系的な枠組みを提供します。

本規格は、AI技術そのものではなく、AI技術が組織に適用される際のリスクと影響に着目しています。

ISO/IEC 42001をより深く理解する上で、重要となるのがAIという世界観でしょう。ISO/IEC 22989:2022は、人工知能の概念と用語を規定しており、ISO/IEC 42001を学ぶ上での重要な基盤を提供します。

ISO/IEC 42001及びISO/IEC 22989は、組織が使用、提供または開発するAIを管理する上で必要な概念、用語ならびに要求事項を規定しています。組織のAIを管理していくためのマネジメントシステムを運用する上で、技術的なバックグラウンドは必ずしも必要ありません。

AIマネジメントシステムの 国際規格について学ぶ

ISO/IEC 22989:2022 規格解説研修

ISO/IEC 22989:2022は、ISO/IEC 42001:2023に引用される規格であり、これを理解することは効果的なAIマネジメントのために不可欠です。

本研修では、ISO/IEC 22989:2022を中心に、AIおよびAIシステムの主要な概念について学びます。これにより、受講者はマネジメントシステム規格の知識を深め、組織におけるAIの効果的な導入と運用を支援できるようになります。

ISO/IEC 42001:2023 要求事項解説研修

AIを責任を持って活用し、組織のパフォーマンスを高めるために、国際的に認められたAIマネジメントシステム（AIMS）が求められています。

本研修では、ISO/IEC 42001:2023の規格要求事項をご理解いただき、AIマネジメントシステムの運用を支えていくための知識を提供いたします。

AIマネジメントシステムを組織のシステムに組み込む

堅牢で質の高いAIMSを構築するための専門知識

New!

ISO/IEC 42001 導入実践研修

世界的に認められたISO/IEC 42001認証を取得することは、組織のデータ管理とAIマネジメントのベストプラクティス維持に必要なスキルフレームワークを実践していることの証明となります。

この研修を通じて、組織の方針に基づく適用範囲の設定から、リスクアセスメント、組織全体の認識の向上まで、各段階を包括的にカバーします。

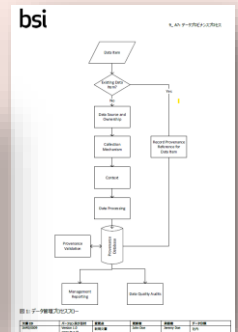
AIMSの導入に役立つ**200ページ以上に及ぶ参考ツールキット**も含め、組織がISO/IEC 42001の導入にお役立ていただける充実した参考資料も提供します。

AI技術の急速な進歩に伴い、倫理的な課題、学習データに伴うバイアスの問題、データプライバシー、透明性の確実性が重要な経営課題となっています。

ISO/IEC 42001を組織のシステムに統合することにより、これらの課題に対する包括的なガバナンス体制を構築し、あらゆる利害関係者からの信頼獲得と持続可能なAI活用が可能となります。さらに、規制への対応と将来の法的リスクを軽減するための取組みをいち早く、組織文化に定着させることも期待できるでしょう。

ツールキットのサンプル

ID	説明	ステータス
1.1	組織のAIマネジメント方針を明確にする	
1.2	組織のAIマネジメント方針を文書化する	
1.3	組織のAIマネジメント方針を関係者に伝える	
1.4	組織のAIマネジメント方針を定期的にレビューする	
1.5	組織のAIマネジメント方針を関係者に定期的に更新する	
1.6	組織のAIマネジメント方針を関係者に定期的に評価する	
1.7	組織のAIマネジメント方針を関係者に定期的に改善する	
1.8	組織のAIマネジメント方針を関係者に定期的に報告する	
1.9	組織のAIマネジメント方針を関係者に定期的に公表する	
1.10	組織のAIマネジメント方針を関係者に定期的に開示する	
1.11	組織のAIマネジメント方針を関係者に定期的に開示する	
1.12	組織のAIマネジメント方針を関係者に定期的に開示する	
1.13	組織のAIマネジメント方針を関係者に定期的に開示する	
1.14	組織のAIマネジメント方針を関係者に定期的に開示する	
1.15	組織のAIマネジメント方針を関係者に定期的に開示する	
1.16	組織のAIマネジメント方針を関係者に定期的に開示する	
1.17	組織のAIマネジメント方針を関係者に定期的に開示する	
1.18	組織のAIマネジメント方針を関係者に定期的に開示する	
1.19	組織のAIマネジメント方針を関係者に定期的に開示する	
1.20	組織のAIマネジメント方針を関係者に定期的に開示する	





“責任あるAIリーダーシップとは、ビジネスリスクを機会として扱い、リスクの軽減策と機会の活用を示すことである。

David Mudd, BSI

AIマネジメントシステムの課題への取組みについて学ぶ

ISO/IEC 42001:2023 管理策解説研修

ISO/IEC 42001:2023では、AIのリスクマネジメントに必要と判断される38の管理策を提供しています。

本研修では、AIMSの効果的な実施に必要な38の管理策について解説します。

ISO/IEC 42001 内部監査員研修

効果的な内部監査は、組織内部のPDCAの一環として不可欠です。

本研修では、国際規格であるISO/IEC 42001に適合したAIマネジメントシステムの適合性と実施状況进行评估し、報告するために必要なスキルを習得します。

ISO/IEC 42001 審査員研修

マネジメントシステム審査は、有効なシステムを運用する上で極めて重要です。

本研修では、AIMS審査員として審査計画を主導、計画、管理、実施するための能力を身に付けることを目的としています。

情報セキュリティマネジメントシステムとの類似性と違い

車を管理するのと船を管理するのでは、管理の概念は似ていても、実際のオペレーションは大きく異なります。ISO/IEC 27001情報セキュリティマネジメントシステムの知識は、根本的なマネジメントシステムであるという類似性から、ISO/IEC 42001を学ぶ上で非常に有益です。

しかし、AIマネジメントシステムは情報セキュリティマネジメントシステムの延長ではなく、AI技術がもたらす独自の課題に焦点を当てた全く新しい規格でもあります。

世界で最先端と言われるAI技術を組織が適切に管理するためにも、AIマネジメントシステム基礎となるISO/IEC 22989が規定する主要な概念を深く理解する必要があります。その理解のもと、組織のマネジメントシステムにAIマネジメントシステムを統合することで、ISO/IEC 42001が焦点を当てる課題に対して効果的な導入が促進されます。

BSI AIマネジメントシステム資格

AIそのものやAI搭載システムが急速に発展する時代において、組織における拠り所となるマネジメントシステムの需要はますます高まっています。この分野における関連知識を持つエキスパートは組織の競争力を向上し、強化するための要となります。

BSIでは、AIの発展を見据えて策定されたマネジメントシステム（ISO/IEC 42001）に関連する各種研修の提供をいち早く開始しました。

AIマネジメントシステムを導入する上での基盤となる基本研修からより高度な知識を必要とする内部監査員研修、主任審査員研修までを含む学習課程を提供します。

組織の要となるべくエキスパートがAIの基本的な概念及びマネジメントシステムの要求事項を理解し、監査の力量とスキルを構築する支援をします。管理策の統合に焦点を当てながら、ISO/IEC 42001の構造、意図、監査の実務について理解を深めることができます。

組織の競争力と信頼性の強化

ISO/IEC 42001研修を通じて、組織はAIマネジメントの知識を持つエキスパートを育成し、国際標準に適合したAIマネジメントシステムを構築し、市場での競争優位性を向上させることができます。

また、ISO/IEC 42001の知識を組織全体で認識することで、AIマネジメントにおける組織の取り組みや成果を、より効果的に顧客に説明することができるようになります。顧客からの信頼を高め、両者の協力関係を促進するのに役立ちます。

BSI資格プログラムは、監査員として必須の力量の基盤を提供します。BSI資格に必要な研修コースを受講いただき、試験に合格することで、BSI資格の取得が可能となります。BSI資格を取得することは、マネジメントシステムの構造と内容を深く理解し、実践的なスキルを身につけていることを対外的に証明することです。社内のキャリアパスの一環としてご利用ください。

AIマネジメントシステムの専門性を証明するBSI資格



BSIでは、内部監査員/審査員プラクティショナー資格を取得した経験豊富な監査員/審査員の方が、監査を実施する際に直面する課題に適応することを目的とした更なるスキルアップのために**プロフェッショナル資格**に通じる研修を提供しています。



お気軽にお問い合わせください

BSI資格関連研修に関するご質問等は随時受け付けております。お気軽にお問い合わせください。

BSIグループジャパン 教育事業部

Japan.Training@bsigroup.com

0120 900 901 (平日 9:00-17:00)



BSI グループジャパン株式会社
〒220-0012
神奈川県横浜市西区みなとみらい3-7-1
OCEAN GATE MINATO MIRAI 3階
教育事業部
Japan.Training@bsigroup.com
0120 900 901 (平日 9:00-17:00)

